



# 日邦産業株式会社 中期経営計画 2019

2017年 5月 31日

代表取締役社長

岩佐恭知



※2020年6月 中期経営計画2019定量目標に対する結果を追加しております。

## 目指す企業像

堅実をモットーとした、  
一流の「グローバルなローカル企業」

- 社員の存在が強みだといわれる会社
- 利益と効率にこだわる会社
- 社員が一流の仕事をする会社

## 2. 向こう3カ年の経営方針



### I. 事業のリバランス（高収益体質への転換）

#### (1) 成長領域と安定・成熟領域のリバランス

「安定・成熟領域の売上高の減少」を  
「成長領域の売上高の増加」で補う

#### (2) 赤字事業(拠点)の撤退・縮小の完了

2018年度の通期営業黒字への転換 シナリオが  
描けない事業から撤退する

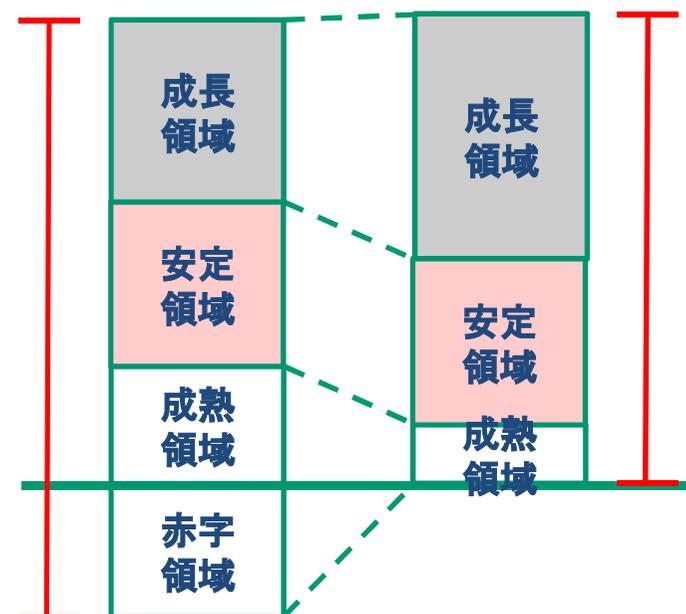
#### (3) 強みづくり

この3カ年は、成長領域と安定・成熟領域の  
リバランスを進めるため、規模の拡大を追わず、  
次の3カ年に向けた強みづくりに注力する

#### 売上高の構成シナリオ

2016年度

2019年度



(2016年度に国内外3拠点の閉鎖・統合・譲渡を実施済み)

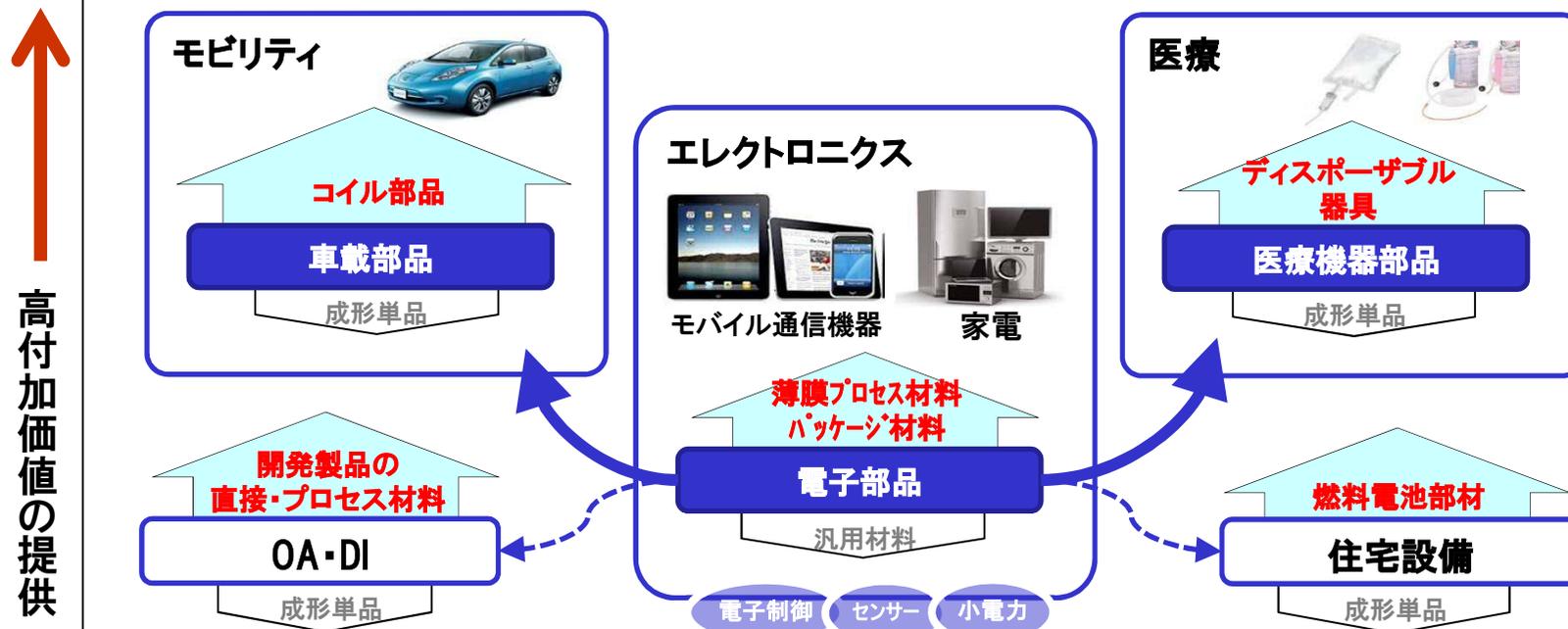
## 2. 向こう3カ年の経営方針



### II. 強みとして伸ばしていく領域

1. 成形品をコアにした、自動車重要保安部品の量産技術確立する
2. ディスポーザル製品を中心に精密医療機器の受託生産を拡大する
3. 電子部品を主軸に様々な事業領域で次世代商材を探索提供する

#### 成長領域と製品・商材のマッチング領域



## 2. 向こう3カ年の経営方針



### Ⅲ. キャッシュフロー重視の経営

- 財務体質の改善を優先し、  
向こう3カ年は、キャッシュ創出額の範囲内で投資と株主還元を実行する



### 3. 向こう3力年の定量目標



#### I. 経営指標

■ この3力年の経営指標は、

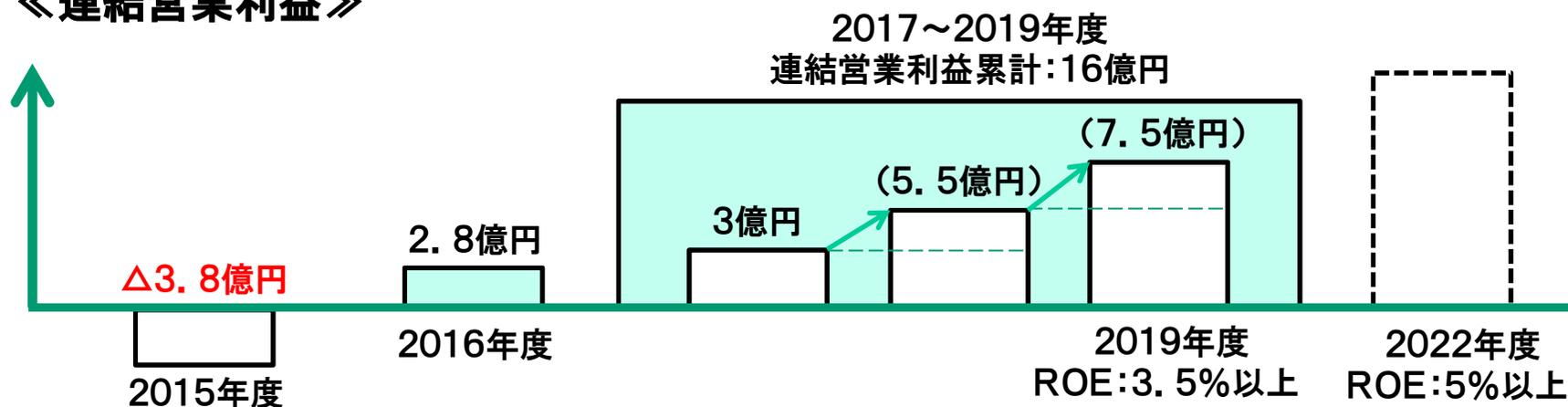
- 2017年～2019年度の3力年累計：16億円

- 2019年度のROE：3.5%以上

(2022年度のROE: 5%以上)

を目標とする

#### 《連結営業利益》



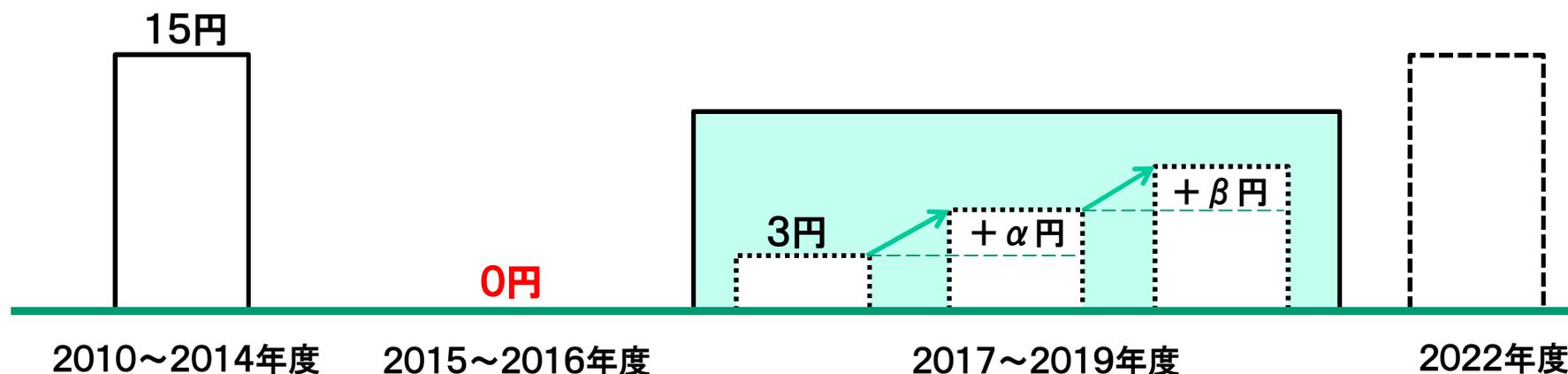
### 3. 向こう3カ年の定量目標



## II. 株主還元

- 持続的な利益成長を定量目標におき、これにあわせて増配していくことを株主還元の基本におく
- 自社株式の買取りよりも、増配を優先する

#### 《株主還元(配当計画)》



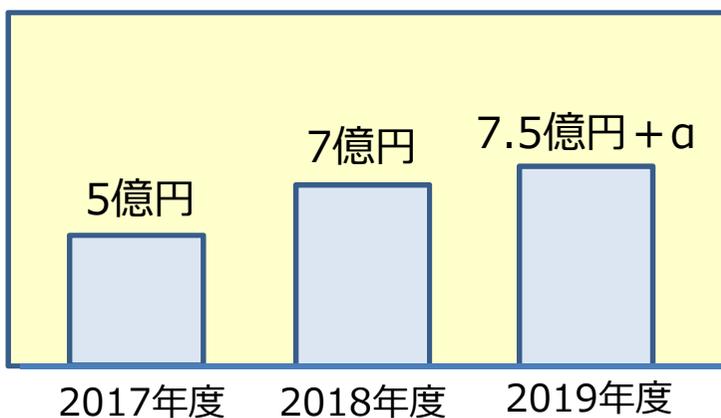
# (追加) 中期経営計画2019 定量目標に対する結果



## 計画

連結営業利益の3カ年累計額  
16億円→**19.5億円以上**

※2018年11月に修正



## 実績

連結営業利益の3カ年累計額：**24.0億円**



### ROE

—      —      **3.5%以上**

—      —      **5.7%**

### 配当

4円      5円      5円+a

4円      0円      **10円**

### 全体像

**【実現する姿】**  
赤字事業・拠点がなくなっている

**2つの赤字事業（広島・刈刈）を黒字  
転換させる目途付けを完了**

## 日邦産業株式会社 経営企画部 竹中 啓倫

電話 : 0587-98-1227  
E-Mail : [ir@nip.co.jp](mailto:ir@nip.co.jp)  
HPアドレス : <http://www.nip.co.jp/>

### 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1米ドル=113円、1タイバーツ=3.2円で計算しています。